

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク戸塚保育園
経営主体(法人等)	株式会社日本保育サービス
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町4822-12野村ビル1・2階 電話：045-869-1972
設立年月日	平成18年4月1日
評価実施期間	平成25年8月～25年10月
公表年月	平成25年11月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者事業部
評価項目	横浜市評価基準
<b>総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）</b>	
<p><b>【施設の特徴】</b>            JR東海道線・横須賀線・横浜市営地下鉄線「戸塚駅」から徒歩7分、長後街道沿いのビルの1・2階にあり、交通の便の良い保育園です。園周辺にはお散歩コースとして「矢部池公園」「踊場公園こどもログハウス」等があり、自然に触れ合うことができます。            園庭での砂遊び・夏のプール遊び、公園へのお散歩、季節に合わせた年間行事など、子どもたちは毎日を楽しんでいます。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1.積極的な健康増進の工夫</b>            天気の良い日や子ども達の体調の良いときには、戸外遊びを沢山取り入れて身体を動かす努力をしています。園の近くの池のある公園やこどもログハウスに出かけています。そのときによって戸外遊びの場所を選び、遊具のない広場だけの公園で鬼ごっこやかけっこの運動をしたり、滑り台やブランコ・鉄棒のある公園では遊具を使って身体を動かす遊びをしています。乳児クラスは目的地に向かうことも運動の一環として、バギーを使わず公園まで歩いて行っています。</p> <p><b>2.牛乳パックを利用した遊びの場の確保</b>            乳児クラスでは、牛乳パックを利用した間仕切りを作り、子どもが落ち着いて遊べる場の確保に努めています。保育室の中を牛乳パックの間仕切りで囲って遊びの場を作り、子どもはそこでブロックやぬいぐるみで遊んでいます。保護者に牛乳パックの回収を依頼するときに、使用目的を伝えることにより、子どもにとって落ち着いて遊ぶ場所があることの大切さを理解してもらおうよう努めています。</p> <p><b>【特に改善や工夫などを期待したい点】</b></p> <p><b>1.子どもが自由におもちゃ等を取り出して遊べる環境作り</b>            おもちゃの保管スペースが狭く、子どもが自由に取り出して遊べるおもちゃが限られています。職員が考えた遊びに合わせて、おもちゃを子どもに与えている状態で、子どもの自主的活動としての遊びにはなっていません。子どもが自由に好きなおもちゃを取って遊べるように、収納の工夫が望まれます。</p>	

## 2.地域支援機能の強化と連携

地域住民を夏祭り、運動会、講演会等に招待し、施設見学、育児相談の案内を園入口に掲示していますが、参加者が少ないのが実態です。講演会参加者や施設見学者からアンケートを取り、子育て支援ニーズを把握することを期待します。そのニーズに応え、保育所の持つ育児に関する知識や技術を地域に還元するため、自治会の回覧を利用するなどして、保育所ができることは何かをお知らせすることが望まれます。

### 評価領域ごとの特記事項

#### 1.人権の尊重

- ・園の基本方針や運営方針は新保育所保育指針に沿った子ども本人を尊重したものとされており、玄関の壁に掲示して職員に周知しています。
- ・職員会議で口調や声の大きさ等、子どもへの接し方を確認しあっており、日常の保育の中で活かされています。職員は「自分がされて嫌だと思うことは子どもにしない」ことを心掛けております。
- ・職員は個人情報取扱いの研修を受け、誓約書を会社に提出しています。ボランティア・実習生も同様です。個人情報の取り扱いについては入園案内に記載し、入園時に保護者に説明し了解を得ております。個人情報に関する書類は事務所の鍵の掛かるロッカーに施錠保管しています。
- ・行事の役割や衣装、制作プログラムで色を使うときは子どもの自由にしていて、男女を区別することはしておりません。「男の子だから・・・」「女の子だから・・・」といった固定観念を無意識に持っていないか、職員同士で話し合い確認しています。

#### 2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・遊びの場では、牛乳パックを利用した間仕切りを使って、子どもが落ち着いて遊べる空間の確保が出来るよう工夫しています。自由遊びは子ども達の要求により遊びを選択しており、それにより計画の変更が生じる場合がありますが、子ども達の意思を第一に考えています。一斉活動では、職員は遊びの中にルールがあることを教え、これだけは子どもに守って欲しいことを教えています。
- ・プランターでトマトや小松菜の栽培をしています。生育の状況を絵に描いて成長過程を確認しています。子ども達は散歩時に近隣の人々と挨拶を交わしたり、池のある公園に行って自然と触れ合う機会を作っています。
- ・子ども同士のトラブルは職員が見守り、子ども同士で解決出来るような場合は子どもに任せています。自分の気持ちをうまく相手に伝えることのできない子の場合、職員が間に入って、互いの話を聞き、双方が納得できるように助言をしています。職員は子どもの状況を的確に掴み、見守りに徹し、大きな声や威圧的な言動は見うけられません。
- ・夏は週1～2回程度午前中にプール遊びをしています。屋外活動に際し、日焼け止め、虫よけ、シャツ等で紫外線、虫よけ対策をしています。園庭のプールは今年から保護者の要求で遮光幕を張り、直射日光を防いでいます。屋外活動は近くの公園を利用することが多く、子どもの年齢や遊びの目的により、場所の選択をしています。朝の受け入れ時に子ども個々の健康状態を確認し、屋外活動ができない子は室内で自由遊びをしています。
- ・職員は子どもの喫食状況を見守り、子どもの負担になるような無理強いはしていません。乳児には子どもの状況を見て欲しがる時に授乳を行っています。離乳食は保護者と連絡を取りながら進めています。幼児クラスは職員がテーブルを共にし、声掛けをしながら食事をする楽しさを味わうことができるよう配慮しています。栄養士がクラスを見て回り、子どもたちが実際に食べている様子を見て、食べ進み具合を確認しています。個別の喫食状態は保育日誌の給食状況欄に記入しています。
- ・眠れない子や眠くない子には、職員が付き添って周りの子の邪魔にならない

	<p>ように横になって静かに過ごしています。SIDS対策として、子どもをうつぶせにしない、0歳児は5分間隔、1歳児は10分間隔で呼吸確認を行っています。年長児は小学校への進級を意識して、年明け位から午睡を減らしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2歳児は子どもの排泄パターンを把握して、1時間～1時間半の間隔でトイレ誘導をしています。トイレトレーニングは保護者と連携して進行状況の確認を行っています。日々の排泄状況は連絡ノートや口頭で保護者に伝えています。</li> </ul>
<p><b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針や運営方針は新保育所保育指針に沿った子ども本人を尊重した方針となっており、玄関の壁に掲示して職員に周知しています。保育課程は保育の基本方針に基づいて、子どもの最善の利益を第一義にしており、入園時や年度初めの保護者会で説明しています。</li> <li>・入園時に保護者より子どもの健康や家庭状況を記載した書類を提出してもらい、子どもの状況を把握しています。指導計画は子どもの発達状況、送迎時の保護者との話し合い及び連絡ノートでの保護者の意向を反映させて作成しています。</li> <li>・清掃は担当を決めて行き、保育室清掃記録表に記録しており、園の屋内・外とも清潔に保たれています。沐浴設備及び温水シャワーが設備され、使用後はその都度清掃を行っています。</li> <li>・子どもの発達状況の変化を捉え、保育日誌や連絡ノートに記録してクラス内の職員と話し合い、指導計画の見直しを行っています。</li> <li>・設置法人から発達支援アドバイザーが巡回し、指導を受けることが出来る体制にあります。障がいのある子どもには保護者と相談して障がいの特性を考慮した個別指導計画を作成する他、横浜市戸塚地域療育センターこども家庭支援課などと連絡を取っています。食物アレルギー疾患のある子の保護者より医師の意見書を参考に、保護者、職員、栄養士とで対策を話し合っています。</li> <li>・苦情受付窓口を入園のご案内に明記し、玄関にも連絡先等の掲示をしています。保護者の要望や意見を聞くために行事毎にアンケートを実施したり、保護者会や個人面談で直接聞いています。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り、運動会、講演会等に地域住民を招待して、交流を図っています。年度初めには子育て支援ニーズについて職員会議で話し合っています。育児相談を実施している旨の案内を玄関の扉に掲示して地域に知らせています。入園を希望する保護者の見学時に、子育てに関する情報提供や育児相談を行っています。</li> <li>・子どもたちは踊場公園こどもログハウス、戸塚図書館、上倉田地域ケアプラザ等を戸外活動で利用しています。散歩の途中で近隣の人と挨拶を交わしたり、園の前を通る人が声を掛けてくれることがあります。</li> <li>・見学は希望者のスケジュールに合わせていますが、園児が活動している午前10時～11時、午後3時以降に見学を勧めています。見学希望者にはパンフレットや入園案内を基に説明を行っています。</li> <li>・ボランティア希望者には「学生実習生・ボランティア受入れマニュアル」に基づいて説明をしています。ボランティア受入れに当たり、子どもとはしゃぎすぎるなど「やって欲しくないこと」を説明し理解を得ています。個人情報保護についても説明し、誓約書の提出を得ています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページで、運営方針、保育の内容等を掲載しています。園のパンフレットや入園案内を戸塚区役所、子育て支援スペース「とことこ」「ととの芽」に置いて情報の提供をしています。</li> <li>・職員が守るべき法・規範・倫理等は就業規則に明記されています。又、入社時の研修や代表研修等を通して周知されていると共に、社内コンプライアンス</li> </ul>

	<p>委員会の設置を玄関に掲示し、職員に連絡先を明示しています。設置法人のホームページに財務諸表、運営状況等を公開しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人において次代の施設運営に関する新たな仕組みを検討したり、幹部職員の人材育成を行っていますが、園としても次代でのサービスプロセスの仕組みの検討や、日常業務の中で責任ある業務を経験させて、後継者の育成をしています。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人において様々な研修が行われており、園長は職員に個人別年間研修計画を作成させて面談を行い、保育サービスに必要な知識・技能が向上する様目標を設定し、人材育成を実施しています。</li> <li>・職員は指導計画や保育日誌の作成時、保育サービスの評価・反省をして自己評価を行っています。それを基にクラス内で保育所としての自己評価を行い課題を見つけ改善すべき事を検討しています。園長は職員会議で職員と保育サービスの自己評価について話し合い、園の方針や保育課程に沿っているか確認しています。</li> <li>・「保育士人材育成ビジョン」および「保育者に求められる役割・能力」に経験・能力や習熟度の応じた役割を明文化しています。園長は職員会議、リーダー会議及び引継ぎノート等を通して職員から業務改善の提案を受けたり、自己査定時の面談や日常の話し合いの中で職員の満足度・要望等を把握しています。</li> <li>・実習生の受け入れを行い、実習生と毎日昼休みに打合せを行い、実習終了後に振り返りを行っています。実習生が入ることにより職員の気づきをうむ事があります。</li> </ul>

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針は「子どもの『自ら伸びようとする力』『後伸びする力』を育てる保育を」「子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす『五感で感じる保育』の充実を」、運営方針は「安全&amp;安心を第一に」「思い出に残る施設」「本当に求められる施設」「職員が楽しく働けること」であり、保育所保育指針に沿った利用者本人を尊重した方針となっており、玄関の壁に掲示して職員に周知している。</li> <li>・保育課程は保育所保育指針と保育の基本方針に基づいて、子どもの最善の利益を第一義にしており、入園時や年度初めの保護者会で説明している。</li> <li>・子どもとのコミュニケーションを大事にし、子どもの自主性や主体性を重んじた指導計画を年齢ごとに年間、月間、週案を作成している。</li> </ul>
<p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に保護者及び子どもと一緒に面接を行い、保護者の要望を聞き子どもの様子を観察して記録すると共に、入園時に保護者より子どもの健康や家庭の状況を記載した書類を提出してもらい、入園までの子どもの情報を把握している。食物アレルギーのある子どもの保護者とは対応の仕方を相談している。</li> <li>・入園当初のならば保育は入園のご案内（重要事項説明書）にその必要性を記述してあり、子どもの状況・様子を見ながら徐々に保育時間を延長していくことを保護者に説明し、保護者の都合を聞いて個別に対応している。</li> <li>・0～2歳児は連絡ノートを利用して、毎日の保育の状況を保護者に知らせて、情報の共有を図っている。</li> <li>・指導計画は子どもの発達状況、送迎時の保護者との話し合い及び連絡ノートでの保護者の意向などを反映させて、複数の職員と話し合い作成している。指導計画にはすべて評価・反省欄を設けており、計画の見直しを行い次の指導計画に活かしている。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・保育所の清掃は担当を決めて清掃を行い、保育室清掃記録表に記録しており、保育所の屋内・外とも清潔に保たれている。又、園は大きな道路に面して排気ガスのため窓を開けられないので、空調を利用して施設内の温・湿度管理を適切に行っている。
- ・沐浴設備及び温水シャワーが設備され、使用後は清掃が行き届いている。
- ・低年齢児には牛乳パックを利用した仕切りを作り、子ども達がそれぞれ自由に使い、自分達の場所を確保して遊んでいる。保育室は狭く、食事や午睡の場所は別々に取れないので、食事と午睡の間にクイズなどをしたりして、子ども達の気持ちを切り替えるよう配慮をしている。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・0、1、2歳クラスは月間指導計画で子ども一人一人の個別指導計画を作成している。又、配慮を必要とする幼児においても個別指導計画を作成している。
- ・日常の保育において子どもの発達状況の変化をとらえ保育日誌や連絡ノートに記録してクラス内の職員と話し合い指導計画の見直しに活かしている。
- ・子ども一人一人に関する情報を児童票や健康記録票に記録し個人ファイルに保管して、進級時の引き継ぎにも利用しており、職員は必要時いつでも閲覧できる。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・設置法人から発達支援アドバイザーが巡回し、指導を受ける事ができ、関係職員と話し合い発達支援相談シートや巡回記録シートに記録している。職員は障害に関する研修に参加して、研修レポートを作成している。レポートはファイルして全職員はいつでも閲覧できる。
- ・保育室が1、2階と別れているが階段しか設置されておらず、車椅子が利用できない。障害のある子どもには保護者と相談して障害の特性を考慮した個別指導計画を作成する他、横浜市戸塚地域療養センターや戸塚区福祉保健センターこども家庭支援課などと直接連絡を取り助言や情報を得ている。
- ・虐待対応マニュアルを整備し全職員に周知しており、職員は送迎時の声かけや子どもの着替え時や表情を観察して虐待の予知に努めている。虐待が疑わしい場合は設置法人に連絡し、必要があれば戸塚区福祉保健センターこども家庭支援課や南部児童相談所へ連絡して対応している。
- ・食物アレルギー疾患のある子どもについては、除去食申請に関する主治医意見書に基づき、設置法人作成のマニュアルに沿って対応しており、アレルギー代替食・除去食を提供している。なお、意見書は半年に1回見直しを行っている。給食を提供する時はテーブルを別にし、トレイの色分け及び食器にかぶせたラップに名前を書いて、複数の職員がチェックして誤食事故を防いでいる。又、お代りも同様に最初の配膳の時に同じトレイに食器にかぶせたラップに名前とお代りと書き置いている。
- ・文化や生活習慣の違う子どもが入園した場合は、設置法人より関連情報を入手したり、保護者とできるだけコミュニケーションを取り保護者の理解を得るようにすると共に職員は違いについて分かり易く教えている。

評価分類

評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制



- ・苦情受付窓口として入園のご案内（重要事項説明書）に設置法人の窓口と戸塚区福祉保健センターこども家庭支援課こども係の連絡先を記載しており、玄関にも設置法人の窓口及び第三者委員の氏名、連絡先を掲示し、第三者委員を交えて対応する仕組みを整えている。保護者の要望や意見を聞くため、玄関に意見箱を設置すると共に、行事ごとにアンケートを実施したり、保護者会や個人面談で直接聞いている。
- ・要望や苦情があった場合は職員会議で報告、検討し、解決後は職員全員に周知している。又、園単独で解決が困難な場合は設置法人や戸塚区福祉保健センターこども家庭支援課に連絡し対応している。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 232 517 259">Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・自由遊びは子ども達の要求により遊びを選択しており、それにより計画の変更が生じる場合があるが、子ども達のことを大切にしている。一斉活動では、職員は遊びの中にルールがあることを教え、これだけは子どもに守って欲しいことを教えている。パズルやブロック等遊び方が分からない子には、職員が声を掛け一緒になって遊んでやり、その遊びに興味を持てるよう配慮している。</li><li>・クレヨン、自由画帳、塗り絵、粘土等は個人の引出しに入っており、いつでも出して使うことができる。</li><li>・子ども同士のトラブルは職員が見守り、子ども同士で解決ができそうな場合は子どもに任せている。自分の気持ちをうまく相手に伝えることのできない子の場合は、職員が間に入って、互いの話を聞き双方が納得できるようにしている。</li><li>・夏は週1～2回程度午前中にプール遊びを行っている。屋外活動に際し、日焼け止め、虫よけ、シャツ等で、紫外線、虫よけ対策をしている。園庭のプールには今年から保護者の要求で遮光幕を張り、直射日光を防いでいる</li></ul> <p data-bbox="727 801 979 828">&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもが自主的におもちゃを出してあそべるように、収納の工夫が望まれます。・おもちゃの保管スペースが狭く、子どもが自由に取り出して遊べるおもちゃが限られている。職員が考えた遊びに合わせて状態で、子どもの自主的活動としての遊びになっていない。</li></ul>

## Ⅱ－1 保育内容[生活]



- ・職員は子どもの喫食状況を見守り、子どもの負担になるような無理強いをしてはいない。乳児には子どもの状況を見て欲がる時に授乳を行っている。離乳食は保護者と相談しながら、一定間隔をもって行っている。幼児クラスは職員がテーブルを共にし、声かけをしながら、一緒に食事する楽しさを味わうことができるよう配慮している。
- ・遊びの場から食事の場の切り替えを絵本の読みきかせや整列、手洗い等で行っている。食材は放射線検査を行っており、保護者に通知している。食器は年齢に合わせた大きさのものを使用している。
- ・子どもの好き嫌いを把握していて、嫌いな物の盛付けを少なくしておいて、全部食べた褒めてあげる。栄養士は子どもの食べる様子を見て、食べ進み具合を確認している。子ども個々の喫食状態は保育日誌の給食状況欄に記入している。
- ・毎月離乳食と普通食の献立表を各家庭に配付している。離乳食については進め方を保護者と連絡を取って行っている。子どもに人気のあるメニューや子どもの食べやすいメニューのレシピを作成し配付している。
- ・眠れない子や眠くない子には、職員が付き添って周りの子の邪魔にならないよう横にさせて静かにさせている。クラス内のカーテンを閉め、消灯して午睡しやすくしている。SIDS対策として子どもをうつぶせにしない、0歳児は5分間隔、1歳児は10分間隔で呼吸確認を行っている。年長児は小学校への進級を意識して、年明け位から午睡を減らしている。
- ・1～2歳児は子どもの排泄パターンを把握して、1時間～1時間半の間隔でトイレ誘導をしている。トイレトレーニングは保護者と連携して進行状況の確認を行っている。日々の排泄状況は連絡ノートや口頭で保護者に伝えている。

## Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・「保育園衛生管理マニュアル」があり、それに基づき子どもの健康状態を把握している。入園時に保護者から「健康調査表」「入園時家庭調査表」の提出を受け、職員は子どもの健康状態を把握している。毎日の健康状態は連絡ノートや口頭で保護者に伝えている。食後の歯磨きは1歳児から行っている。
- ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施している。診断や健診の結果は「結果のお知らせ」を保護者に配付して知らせている。健康診断や歯科健診で気になる点があった場合は、保護者に嘱託医を紹介している。
- ・感染症マニュアルがあり、それに基づき説明をしている。保育中に発症したり、その疑いがある時はその旨保護者に連絡し迎えを要請する。子どもは他の園児への感染を防止するため事務所に隔離している。感染症が発生した場合は状況を園内に掲示して保護者に知らせている。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理  
[衛生管理]



・「保育園衛生管理マニュアル」があり、年度の切り替え時には見直しを行い改善要望を本部に提出している。新卒は入社前研修、中堅社員は階層別研修で衛生管理に対する事項を受講しており、職員は周知している。清掃は遅番が担当し「保育室清掃記録表」「アルコール消毒表」に結果を記録している。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理  
[安全管理]



・業務マニュアルに安全に関する事項があり、事故や災害時の対応が記されている。クラス内の背の高いロッカーは突っ張り棒で転倒防止対策がされているが、2階の部屋の間仕切りとして利用している移動が可能な背の低いロッカーに、ストッパー等の滑り止めの対策がなされていない。消防訓練、避難訓練、通報訓練は毎月行っている。地域の避難場所(市立戸塚小学校)への誘導訓練は9月に予定している。

・役所・病院・警察署・消防署等地域社会資源一覧表が玄関に掲示してあり、非常時の備えとなっている。子どもの怪我については、軽傷であっても口頭で保護者に伝えている。事故の発生原因・再発防止対策を職員会議で議題に上げ職員が共有している。

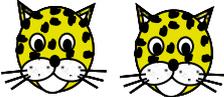
・玄関・非常口は常に施錠している。警備会社と防犯カメラ、通報装置等のセキュリティ契約をしており、警備会社と何時でも連絡が取れるシステムとなっている。戸塚区役所や近隣に住む保護者や社員から不審者情報が得られる。

＜コメント・提言＞

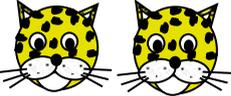
・2階のクラスを仕切っている背の低いロッカーは、地震の際横滑りする危険性が感じられます。ストッパーをつける等の工夫が望まれます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議で口調や声の大きさ等、子どもへの接し方を確認しあっており、日常の保育の中で生かされている。職員は「自分がされて嫌だと思うことは子どもにしない」ことを心がけている。</li> <li>・クラス内では子どもが周りを気にせず過ごせる場所の設定は難しいが、事務所を利用して一対一で向き合える場の設定や、カーテンを利用して、プライバシーを守れる場としている。</li> <li>・職員は個人情報の取り扱いの研修を受け、誓約書を会社に提出している。ボランティア、実習生も同様である。個人情報の取り扱いについては入園案内に記載し、それを説明し保護者の了解を得ている。個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかるロッカーに施錠保管している。</li> <li>・行事の役割や衣装、制作の色分け等子どもの自由にして、男女を区別することはしていない。「お父さんは男だから・・・」「お母さんは女だから・・・」といった固定観念を排除し、職員同士で話し合い、確認している。</li> </ul>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会・クラス懇談会を年5回、保育参観を年2回開催し、保護者と話し合う機会を設けている。年度末に保護者からアンケートを取り、今年の振り返りを行い、次年度の保育計画作成の参考としている。毎日の連絡ノートやクラスノートで保護者とコミュニケーションを取り、園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを毎月発行し保育方針が理解されるよう努めている。</li> <li>・子どもの送迎時に担任又は引き継ぎを受けた職員が保護者に子どもの様子を伝えている。伝達は連絡ノート、クラスノート、口頭で行っている。</li> <li>・保護者から相談を受ける時は、事務所にカーテンを引いたり、空いている保育室を利用しプライバシーへの配慮をしている。相談を受けた職員が回答できない場合は主任・園長から助言を受けられる体制になっている。相談の内容は面談記録に記入し、個人記録として保管し、継続フォローができる体制となっている。</li> <li>・園だより、保健だより、給食だより、食農だよりを毎月発行し、保護者に配付している。その日の保育・行事予定は園の玄関に掲示しており、給食・おやつサンプルもメニューと共に陳列している。クラス懇談会では、クラスでの子どもの様子や、今後の目標などを話している。日々の子どもの様子は写真にとり、ネットで閲覧・購入ができる。I/D、パスワードで個人情報の保護に配慮している。</li> <li>・年間行事計画を保護者に配付して、保護者の予定を取りやすくなるよう配慮している。保育参観を年2回開催し、保護者には子どもと一緒に遊ぼう保育参加を体験してもらっている。</li> <li>・保護者が自主的に卒園式で謝恩会を企画し、その場所として保育室を提供した。保護者からの要請があれば、職員は協力し、参加する意思がある。</li> </ul>

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を夏祭り、運動会、講演会などで招待して交流したり、保育園の見学時に保護者からの子育て相談を受けることはあるが、地域の子育て支援ニーズを把握するまでには至っていない。</li> <li>・年度初めには子育て支援ニーズについて職員会議で話し合っているが、子育てを支援するためのサービスは実施できていない。</li> <li>・地域住民を対象にした「ママいきアッパー子育ての悩み相談・ママが生き生きと輝くための講演会」を昨年開催し、今年も9月に行う予定である。</li> </ul> <p>＜コメント・提言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所は地域住民にとっても貴重な社会資源です。地域の子育て支援ニーズを把握して、子育て支援サービスを提供することを期待します。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談を実施している旨の案内を玄関の扉に掲示して地域に知らせているが、相談実績はまだなく、入園を希望する保護者の見学時、子育てに関する情報提供や育児相談を行っている。</li> <li>・保育所周辺の社会資源を一覧表に整理して掲示し、関係機関との窓口は園長が行っている。特に戸塚区福祉保健センターこども家庭支援課や横浜市保育コンシェルジュとは日常的な連携ができています。</li> </ul> <p>＜コメント・提言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の持つ育児に関する知識や技術を地域に還元するため、自治会の回覧などを利用して積極的な育児相談の情報提供を期待します。</li> </ul>

### 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の夏祭りのポスターを園外壁、近隣のマンションの掲示板に掲示し、その結果、地域から3組の参加があった。今年の運動会は矢部小学校の体育館を借りて行う。上矢部高等学校からは職業体験の要請を受けている。</li> <li>・子どもの園外活動として、踊場公園子どもログハウス、戸塚図書館、上倉田地域ケアプラザを利用している。他の園、学校、福祉施設等とは日常的な交流を持つ関係は作れていない。</li> </ul> <p>＜コメント・提言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の行事、備品の貸出し等を園外壁に掲示し、園が地域と関係を強固なものにしたい意思があることを近隣住民に知らせることを望みます。</li> </ul>

<p><b>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページで、運営方針・保育の内容等を掲示している。園のパンフレットや入園案内を戸塚区役所、子育て支援スペース「とことこ」「とっとの芽」に置いて、情報の提供をしている。子育てナビ「まみたん」に掲載されている。</li> <li>・見学希望者にはパンフレットや入園案内を基に説明を行っている。保育所の基本方針やサービスの内容等は問い合わせがあればいつでも対応ができるようになっている。見学は希望者のスケジュールに合わせているが、園児が活動している午前10時～11時、午後3時以降に見学を勧めている。</li> </ul>
<p><b>IV-3 実習・ボランティアの受け入れ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学生実習生・ボランティア受け入れマニュアル」があり、それに基づいてボランティア希望者に説明している。個人情報保護についても説明し、誓約書をもらっている。ボランティア受け入れに当たり子どもとはしゃぎ過ぎるなど「やって欲しくないこと」を説明し理解を得ている。活動についてはボランティア活動記録に記入し、その日の業務終了後、ミーティングを行い振り返りを行っている。</li> <li>・実習生にはマニュアルに沿って説明し、個人情報保護についても誓約書を貰っている。受け入れ担当は園長であり、実習生の活動は実習生活動記録に記入している。実習が、観察実習、部分実習、責任実習によって実習生がクラスで行う実習内容が変わってくる。責任実習の場合は実習生に合わせてプログラムを変更する場合もある。実習生とは毎日昼休みに打ち合わせを行い、実習終了後に振り返りを行っている。</li> </ul>

**評価領域V 人材育成・援助技術の向上**

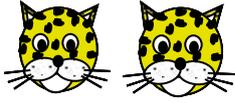
評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の保育サービスの提供が困難な人材構成となる場合、園長は設置法人へ必要とする人材の補充を申告して、欠員補充が速やかに行われる体制ができている。</li> <li>・設置法人において、様々な研修が行われており、園長は職員に個人別年間研修計画を作成させて面談を行い、保育サービスの実施に必要な知識・技能が向上するよう目標を設定し、人材育成を計画している。</li> <li>・職員は常勤、非常勤に関わらず園長と相談して研修に参加することができる。受講する機会が少ない非常勤職員には受講した職員の研修レポートを回覧したり日常の話し合いで伝えている。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>V-2 職員の技術の向上</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は指導計画や保育日誌の作成時、保育サービスの評価・反省をして、自己評価を行っている。又、それを基にクラス内で話し合い保育所としての自己評価を行い、課題を見つけ改善すべき事を検討している。設置法人からリスクマネジメントなどの専門講師が巡回して、必要時指導を受けることができる。</li> <li>・個人別年間研修計画表や指導計画表には全て「ねらい」と反省・評価欄があり、職員は常にねらいと関連づけて自己評価を行い、作成している。</li> <li>・園長は職員会議で職員と保育のサービスなどの自己評価について話し合い、園の方針や保育課程に沿っているか確認している。</li> </ul>
<b>V-3 職員のモチベーションの維持</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育士人材育成ビジョン」及び「保育者に求められる役割・能力」に経験・能力や習熟度に応じた役割を明文化している。</li> <li>・業務マニュアルの業務分担で園長、主任、職員の業務について明確にしているが、突発的なことはその場で処置して直ぐに園長・主任へ連絡して指示を仰いでいる。</li> <li>・園長は職員会議、リーダー会議及び引き継ぎノート等を通して職員から業務改善について聴いたり、自己査定時の面談や日常の話し合いの中で職員の満足度・要望などを把握している。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>VI-1 経営における社会的責任</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が守るべき法・規範・倫理等を就業規則に明記し、入社時の研修で職員に周知している。園長は設置法人から入手する保育所に関する不正・不適切な情報について会議などで職員と話し合っている。</li> <li>・ペットボトルキャップの回収、使用済みの牛乳パックやトイレットペーパーの芯の子ども達の制作への再利用、牛乳パックの仕切り板や靴下入れへの利用及び保育所内の電気機器待機電力の節電などの取り組みを行っている。</li> </ul>
<b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は基本方針や園目標を玄関に掲示して職員に周知し、日常の話し合いにおいても、基本方針や目標に沿って話をしている。</li> <li>・園長は保育所の重要な意思決定をした場合、すぐに職員に目的・理由などを説明している。又、保護者には保護者会や送迎時の話し合いなどを利用して説明し理解を得ている。</li> <li>・主任は職員の能力や経験を把握し、業務が円滑に進むよう個々の職員に指導・助言を行っている。又、体調がすぐれない職員と交替したり、悩みを聴いたりするなど配慮している。</li> </ul>

### VI-3 効率的な運営



・園長は事業運営に影響ある情報を設置法人から入手、分析して幹部職員と会議を行い、重点改善課題として設定し、全職員と解決に取り組んでいる。設置法人において次代の施設運営に関する新たな仕組みを検討したり、幹部職員の人材育成を行っているが、園としても次代でのサービスプロセスの仕組みの検討や後継者の育成を考慮した業務経験をさせて後継者を育成している。

・設置法人は次代の施設運営に備え、幹部職員養成プログラムで計画的に人材育成をしている。園としても日常の業務の中で責任のある業務を経験させて後継者を育成している。

#### <コメント・提言>

・保育所の基本方針に沿った持続可能な運営を行うには、常に先を見据えた課題設定が重要です。まずは、3年程度の中期計画を作成することをお勧めします。

## 利用者家族アンケート

施設名：アスク戸塚保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

### 結果の特徴

#### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 59 名、全保護者 49家族を対象とし、回答は28家族からあり、回収率は57%だった。

#### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

#### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は 89%（満足 75%、どちらかといえば満足 14%）であった。

#### ◇ 満足度の高い項目

- 1) 基本理念・方針については、「よく知っている」が14%、「まあ知っている」が64%であり、内容について肯定的回答（賛同できる、まあ賛同できる）が79%を占め、保護者の理解度が比較的高い。
- 2) 保育内容の遊びについては6項目全体で肯定的な回答（満足、どちらかといえば満足）が95%、同じく、生活については7項目全体で93%であり、保護者が満足している。
- 3) 職員の対応については、5項目全体で肯定的な回答が91%であり、職員への信頼が高い。

#### ◇ 満足度の低い項目

- 1) 入園した時の状況については、6項目全体で否定的な回答（不満、どちらかといえば不満）が11%であり、また、年間の計画について2項目全体で否定的な回答が同じく11%である。保護者への説明、意見や要望の把握と対応が必要である。
- 2) 保育園の快適さや安全対策については、4項目全体で否定的な回答が18%であり、保護者の意見や要望を把握し対応する必要がある。
- 3) 園と保護者との連携・交流については、7項目全体で否定的な回答が10%である。このうち、送迎時の子どもの様子に関する情報交換について否定的な回答が18%（不満11%、どちらかといえば%）を占めており、一日のお子さんの様子に関する情報提供の仕方に工夫を要する。

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	14%	64%	4%	7%	7%	4%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	21%	58%	0%	0%	0%	21%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	57%	18%	0%	4%	21%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	46%	39%	4%	4%	4%	3%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	54%	29%	14%	0%	0%	3%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	68%	25%	0%	0%	4%	3%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	64%	25%	4%	0%	4%	3%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	64%	25%	4%	0%	4%	3%
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	43%	46%	11%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	43%	39%	7%	4%	4%	3%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	57%	39%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	61%	39%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	50%	43%	4%	0%	3%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	54%	39%	4%	3%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	57%	39%	0%	0%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	57%	36%	0%	0%	4%	3%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	86%	11%	0%	3%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	79%	14%	0%	0%	4%	3%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	64%	29%	0%	4%	3%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	68%	25%	0%	0%	4%	3%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	57%	32%	0%	7%	4%	0%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	71%	25%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57%	32%	0%	7%	4%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	22%	46%	25%	7%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	40%	46%	7%	7%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	39%	36%	18%	4%	3%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	64%	32%	4%	0%	0%	0%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	61%	21%	14%	0%	4%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	61%	29%	10%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	71%	18%	7%	4%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	61%	21%	7%	11%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	54%	36%	7%	0%	0%	3%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	57%	32%	4%	4%	0%	3%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	75%	18%	0%	4%	3%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	75%	21%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	79%	21%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	61%	18%	0%	0%	11%	10%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	79%	14%	4%	3%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	61%	25%	7%	4%	0%	3%
	その他:					

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
総合満足度は	75%	14%	7%	4%	0%

## 観察方式による利用者本人調査

### アスク戸塚保育園

#### ◇0 歳児

##### プール遊び

10 cm程の深さの水が入った小さなプールで子どもたちが遊んでいます。職員にプールに入れてもらおうと、座って、じょうろや魚の格好をしたプラスチックのおもちゃを手にして振りながら涼しそうに遊んでいます。やがてプールから出た子どもたちはシャワー室で温水シャワーを浴び、タオルで全身を拭いてもらいオムツをはいています。服を着せてもらってあちこちを「はいはい」していましたが、職員に抱かれるとすぐにあくびをして眠くなってきました。簡易ベッドに載せられるとすぐに目を閉じ、安心した様子で眠りに入りました。

##### 午睡の前のオムツ替え

床に小さい毛布を敷いてもらい、横になりました。ぬいぐるみを与えられると手にしてしばらく振って遊んでいましたが、飽きたらしく、元気よく起き上がろうとします。職員が何度か寝かしてオムツを交換しました。終わるとすぐに「はいはい」して、1歳児の方へ行こうとしています。

##### 食事

テーブル付の椅子に座り、職員がスプーンで離乳食を口元に運ぶと、素直に口を開き食べています。職員に何か話し掛けるようにしながらおいしそうに食べています。やがてほぼ全部食べ終わりました。

##### 自由遊び

テーブル付の椅子に座って職員がそばで子どもたちを見守っています。1、2歳児がブロックやぬいぐるみで遊びだすと、一緒になってブロックをつかんだり、しゃぶったりしながら遊んでいます。

#### ◇1 歳児

##### 食事

子どもたちは手を洗うと、職員に促されてそれぞれの椅子に座りました。職員のリードで食事の歌を歌い終わると、職員が配膳し食事が始まりました。職員が時々介助しながら食べています。15分ほど経つとほとんどの子どもが8割ほど食べ終わり、おかわりする子もいて、おいしそうに食べていました。30分程経った頃には全員が全て食べ終わりました。食事が終わった子どもたちは、順次歯ブラシを職員から渡され歯磨きを始めました。最後に職員に仕上げみがきをしてもらっています。

##### 排泄

朝のおやつが終わり、全員で「ごちそうさま」と挨拶をし、職員が「おしっこは？」と聞くと2人の子どもが手をあげて自分でトイレに向かいました。職員に手伝ってもらいながらトイレを済ませました。

## プール遊び

部屋でオムツだけの姿になり、職員に合わせて柔軟体操をします。10 cm程の深さの水が入った小さなプールに喜んで入ります。プールの中に水遊び用のじょうろや小さなおもちゃがいっぱい入っていて、めいめい好きなものを持って水遊びを楽しんでいます。「冷たくて気持ちいいね。」職員が声をかけ、子どもたちは嬉しそうに遊んでいます。やがて、プールを終えシャワー室へ移動して温水シャワーを浴びました。職員にタオルで全身を拭いてもらいオムツをはかせてもらい着替えを済ませました。

## 自由遊び

プール遊びが終わった後、2歳の子どもたちと一緒にブロック遊びを楽しみ、それぞれが工夫して、いろいろなものを組み立てて楽しそうに遊んでいます。

## 午睡

給食が終わり、午睡のために職員が布団を並べています。子どもたちは職員に手伝ってもらいながらパジャマに着替えています。多くの子どもは布団の上に横になるとすぐに眠りに入りました。なかなか寝付けない子どもには、職員が横に寄り添い手を添えてさすり、眠りに誘っています。

## おやつ

子どもたちはテーブルに向って椅子に座り、職員が牛乳とバナナを配っています。職員の合図で「いただきます」と食べ始めました。職員に教わりながらバナナの皮をむいて食べ始めました。「〇〇ちゃん、良くできたわね」と職員がほめています。となりの子どもは牛乳の入ったコップを一人で持ち、飲み始めました。「すごい、一人でよくできたね」と職員がほめています。

## ◇2歳児

### 自由遊び

職員がプラレールを出してきて、レールを組み立て始めました。子どもたちもいっしょになって手伝うが、部品が多くなかなか組み立てられません。職員はプラレールの組み立てをあきらめて、ブロック遊びに変更しました。ブロックの部品は自動車や車輪など様々な形のものがあり、子どもたちは作りたいものを想像ながら自分で組み立てて楽しんでいます。

## 朝おやつ

朝の会が終わり、席の場所を教えてもらいながら2つのテーブルにそれぞれ向かっていました。食物アレルギー疾患の子どもは一人用テーブルの前に座っています。職員がクイズを出して気持ちを集中させ、やがて、名前を呼んで出席を取ります。子供たちは元気良く返事をしています。職員が全員におやつを配り終わるまで、子どもたちはゲームをしながら待っています。配り終わると職員の合図で「いただきます」と叫んで、さっそく牛乳とバナナを食べ始めました。

## ◇3、4、5歳児（合同保育）

### 午前の遊び

- 絵本の読み聞かせ

子どもたちは職員を囲んで座り、職員の本を読む声に反応して、質問や感想を言っています。職員は子どもたちの声の一つ一つ答えて、本を読んで聞かせることより、子どもたちとのコミュニケーションを大切にしています。子どもたちも職員との会話が楽しそうです。

- サーキットゲーム

子どもたちは、大きなマットのトンネル、フラフープの島、小さなマットを並べた橋、ダンボールで作った新幹線とまわって、ゴールに向かって走ります。クラス毎に並び順番に一人ずつ走ります。子どもがトンネルをくぐり抜けると「すごーい！良くできたね」と職員、フラフープの島を飛んで渡るときに「頑張ってる」「もう少しだよ」と声をかけています。小さなマットの橋を渡るときには「早いね」「落ちないように」などと声をかけ、最後にダンボールで作った新幹線でゴールに向かわせています。3歳児と5歳児が同じ遊びを一緒にしているが、体力の差があり、フラフープの島越えは5歳児は難なくできても、3歳児はなかなかできません。それでも職員の励ましの声を得て、頑張っていました。

- ボール遊び

子どもが向かい合わせになり、両手をつないだ腕の上に大きなボールを置いて、落とさないように走り、目標物を折り返してきます。職員は、子どもたちを2チームに分け対抗戦を始めました。異年齢児の組み合わせにより、年長児が年少児をリードします。小さい子どもも、大きい子どもに助けられてゴールし、達成感と満足感を味わっていました。

## 食事

3、4、5歳児が一人ずつ三人で一つのテーブルに着いています。食事中はお互い話をしてにぎやか。各テーブルには職員が一人着いています。職員は子どもの食べる様子をみながら、食事が進むように声をかけています。ニンジンを残している子どもに「ニンジンさんが一人ぼっちで寂しそう。仲間にしてあげてね。」と声をかけ、食べることを促しています。3歳児の食事の進まない子どもに、時々食事の介助をしているが、決して無理強いはしていません。

## 午睡

食事が終わり、歯磨きをして、パジャマに着替えま。他の職員が午睡のための布団を敷く間に、職員が子どもたちを集めて、ゲームや遊戯を行い、食事の場と午睡の場の切り替えを行っています。午睡の準備ができたなら、年齢順にトイレに行き午睡に入ります。職員は部屋のカーテンを閉め、電気を消して部屋を暗くして眠りに入る環境を整え、子どもたちを見守っています。

平成 25 年度 横浜市第三者評価 事業者コメント  
(アスク戸塚保育園)

**【受審の動機】**

アスク戸塚保育園は、開園 8 年目を迎えました。これまでの園運営を振り返り、今後の課題を見出すために有効な手段だと考え、毎年第三者評価を受審させて頂いております。開園初年度より同じ評価機関に評価を依頼し、一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じております。今年度も、保護者のニーズを把握する絶好の機会、また、同時に職員が自己・自園を見直す良いきっかけになると考え、受審いたしました。

**【受審した結果】**

今回の評価をもとに、今までの保育を見直す良い機会となりました。今後の保育にも参考にさせていただき、より良いものとしていきたいと思っております。保護者の方々のアンケート結果では保育園に対してのご理解、ご期待を感じる事ができ、私たちのこれからの保育の励みとなり、とても嬉しく思いました。おもちゃの保管につきましては、限られたスペースの中で、ご指摘いただいた「子どもの自主的活動」をどのように確保していくか、園全体で考えてまいります。また、地域支援機能の強化と連携につきましては、これまでも課題として捉えておりました。地域住民の皆様にとって、より身近な子育て支援機関として、保育に関する知識や技術を還元していけるよう、努めてまいります。

最後に今回の受審にあたりまして、ご利用者調査にご協力いただきました在園児の保護者の皆様、ご尽力いただきました評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。